

理解推進事業

毎年恒例の美術作品展が展示作品の募集開始
絵画や木工、書など申込み締切りは10月7日

障害者週間にちなみ、今年も11月27日(日)から12月4日(日)に開催される多摩市障がい者美術作品展では展示作品を募集中。対象は多摩市在住または多摩市内の学校や企業、作業所等に通う障がい者または団体で、絵画や陶芸、書、手(工)芸、木工など幅広い作品を求めている。多摩市障害者福祉協会のホームページから用紙をダウンロードし郵送またはメール、FAXで事務局まで申込む。10月7日(金)必着。直接持参も可。住所、電話番号などは1頁右上を参照。



資源化センター事業

ガラスびんには何度も使えるものと原料として
再利用されるものの2種類がある

7月の作業実績は13日間でおよそ65時間、総選別量は対前月比約1%減の約89.4トンだった。ガラスびんには、ビールびんや一升びんなど、洗って繰返し使える「リターナブルびん」と、調味料やドリンクのびんなど、回収してガラスびんの原料として利用する「ワンウェイびん」の2種類があり、資源化センターでもそれぞれを分別し処理している。環境保護や資源の有効活用に一役買っているという訳だ。



何回でも使えるリターナブルびんには一升びんやビールびんのほかに牛乳びんや焼酎びん、酢やしょうゆびんなどがあり、丸正マークやRマークなど目印が刻印されている

加盟団体紹介

アートひまわり
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎373-8455
NPO 法人あしたや共働企画
多摩市諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690
NPO 法人暉望(色えんぴつの家・グループ TOMO)
多摩市永山 3-9 ☎372-3382

NPO 法人くぬぎ
多摩市永山 3-9 ☎375-2583
NPO 法人どんぐりパン
多摩市諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236
サンクラブ多摩
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎356-0308
多摩市視覚障害者福祉協会
多摩市聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051

NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター3階 ☎338-7009
多摩市手をつなぐ親の会
多摩市落川 1234-2 ☎371-8809
多摩市聴覚障害者協会
多摩市聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

※の一まの『HOT ほっと』は2014年9月号、本部で発行しておりました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊 relier』としてリニューアル発行させていただいております。法人ともども今後ともよろしくお願いたします

移動支援事業

買い物や映画、カラオケなど近場からしながわ水族館など
遠出までヘルパー使い楽しもう

7月はカラオケや映画、図書館、ショッピングへの同行などであわせて60件の利用があった。近場では落合夏まつりやサンリオピューロランド、遠くでは東京タワー展望台や深川江戸資料館、しながわ水族館などがあつた。また、7月10日に行なわれた参院選の投票同行依頼もあつた。

多摩川沿いは特に緑が濃い二子玉川。渋谷まで約10 kmの道は、多摩川河川敷を通れば意外に近い。普段、電車から見る景色も、ゆっくり歩きながら見れば違った発見があるかも



地域活動支援センターあんどからお知らせ

講演会「高次脳機能障害を知っていますか」

高次脳機能障害の基礎知識や、家族視点での日常生活や支援の講演。また、高次脳機能障害者支援促進事業の説明、市内事業所の紹介を行なう。

▽日時: 10月2日(日)午後1時30分~4時30分

▽場所: 総合福祉センター3階多目的フロア

▽定員: 100人(申込み先着順)

▽講師: 坪井 麻里佳氏(医師)、柴本 礼氏(『日々コウジ中』著者)

▽申込み: 9月7日(水)から電話・FAX、窓口で受付

▽問合せ: 多摩市社会福祉協議会地域福祉推進課(多摩市総合福祉センター3階事務室) 日曜日・第2土曜日・祝日を除く 8:30~17:00

☎ 042(356)0307 ☎ 高次脳機能障害の夫との日々を妻が
FAX 042(356)1155 つづるコミックエッセイ ©主婦の友社



多摩市障害者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ



発行: 多摩市障害者福祉協会
多摩市南野3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327

ホームページ http://tashokvo.com

多障協だより
ちよっぴり寂しい
残暑お見舞い号

2016年8月25日発行
2016年第3巻第8号通巻24号

relier 9月号

目次

事業報告

- 津久井やまゆり園事件に関して 1
- 支援センターの一ま 2
- 障がい者就労支援センター 3
- 移動支援事業 4
- 資源化センター事業 4
- 加盟団体紹介 4
- 地域活動支援センターあんどからお知らせ 4

連載

- NEWS 1
- 今月のひとこと 1
- プログラムカレンダー 2
- 今月のひとこと解説 3

津久井やまゆり園事件に関して

津久井やまゆり園事件の容疑者は、担当取調官に「ヒトラーが降りてきた」と語ったという。ヒトラーは、第二次世界大戦時のナチスドイツ軍総統であり、ドイツ人の理想郷を実現には、劣るものは排除するという思想の基に、20万人とも云われる障がい者や障がい児を安楽死、虐殺した。1984年に、国連は国が守るべき基準として「世界人権宣言」を採択し、その第一条に「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」と謳ってある。障がい者は自ら望んで障がい者になった訳ではない、運命によってそうなったのである。人にはこの世に生をうけ、それぞれに使命を果たす役割があり、それを自分勝手な論理を組み立て正当化し、命を奪うなどという事は言語道断というほかはない。

今月のひとこと



「インクルーシブ防災」という言葉をご存じだろうか。「インクルーシブ防災」とは、誰も排除しない、障がい者や高齢者など災害弱者のニーズを特別なニーズととらえるのでなく、様々な人たちが持つ個性的なニーズととらえ、そのニーズに当然として答え、あらゆる人の命を支えようという防災の考え方だ。こういった考え方がスタンダードになるまでには、まだまだ時間がかかると思うが、私たちの活動がその一助になれば防災の日を前に思う。

NEWS~最低賃金、過去最高の24円アップを答申

中央最低賃金審議会は7月28日、2016年度の最低賃金の引上げ額の目安を加重平均で24円とするよう厚生労働大臣に答申した。都道府県をA~Dの4ランクに分けた引上げ額の目安は、最も高い東京や大阪などAの5都府県が25円、埼玉や広島など11府県のBが24円、福岡や宮城などCの14道県が22円、最も低い青森や沖縄などDの17県が21円。答申通りならすべての都道府県の最低賃金が700円以上になり、東京都は932円となる。今後、各都道府県の審議会が、今回の目安をもとに審議し、10月ごろから適用となる。

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表すフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

つむぎ館まつり

今年も、市立健康センターで行なわれるつむぎ館まつりにの一まが参加致します！
 日程：10月22日(土)・23日(日)
 時間：10時～12時・13時～15時
 内容：手相占い・マッサージ・ハンドマッサージ・市内の事業所による体験コーナー等を予定しています。

つむぎ館まつりボランティア募集

つむぎ館まつりでボランティアをしてくださる利用者さんを募集します。
 内容：受付や案内などのお手伝い
 募集期間：9月3日(土)～9月24日(土)までにお申し込み下さい。
 ※10月1日(土)14:00からボランティア説明会

7月相談件数

内容	相談件数
電話	102件
面接	95件
訪問	16件
同行	6件
連絡調整	27件
フリースペース(延べ)	232名
プログラム参加(延べ)	96名
新規登録者	3名
今年度登録者	151名

の一まからお知らせ

の一までは暑さ対策の為に冷房を設定し、ゆったりと過ごせるようにフリースペースを開放しますので、外出時の休憩などにぜひご利用ください。



お知らせ

今月の映画会

10日(土)は『アーロと少年』を上映します。
 甘えん坊で臆病な性格の少年アーロは、両親の深い愛情に包まれてすくすくと育っていく。だが、ある日、アーロは川の急流にのまれ、たった一人で見えのない場所にたどり着き…。

熊本地震災害義援金

4月14日に発生した平成28年熊本地震を受け、の一までは6月末まで募金箱を設置。多摩市福祉総務課を通し、日本赤十字社に平成28年熊本地震災害義援金として2724円を送金しました。ご協力ありがとうございました。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 イブニングタイム 17:45～19:30	3 利用者ミーティング 14:00～15:00
4 やす 休み	5 やす 休み	6	7 SST(固定) 14:00～15:30	8	9 イブニングタイム 17:45～19:30	10 映画会 『アーロと少年』 13:30～15:30
11 やす 休み	12 やす 休み	13	14 リラックス体操 14:00～15:00	15	16 イブニングタイム 17:45～19:30	17
18 やす 休み	19 やす 休み	20	21 スタッフ会議 10:00～12:00 SST(自由参加) 14:00～15:30	22 秋分の日 やす 休み	23 イブニングタイム 17:45～19:30	24 コーラス 14:00～15:30
25 やす 休み	26 やす 休み	27	28 リラックス体操 14:00～15:00	29	30	

普段の暮らしに関すること、障がいや病気のこと、福祉サービスのこと、困っていることがあればご相談ください。☎042-311-2660 ☎042-311-2300(受付は祝日除く火～土 10:00～17:00) 住所：多摩市関戸 4-19-5 市立健康センター4F

実績報告

7月の実績報告

7月の相談件数は308件で、昨年同月比27%増加傾向にある就職前の就労に関する相談は78件で、昨年同月より9件増。福祉サービス利用の相談が増えたことによるもの。定着支援である職場訪問は50件であった。
 新規就職者は2人で、就労継続支援A型事業所での軽作業と、一般企業での飲食業であった。また、7月26日に多摩市役所にて、多摩桜の丘学園の生徒と保護者を対象とした福祉相談会が開催された。当センターも事業説明を行なった。

今月のひと口解説

ビジネスマナー編 vol.9

人から指示を受けるときは…

仕事は指示されたことを確実にやりとげ、報告して完結します。仕事の指示を受けるときはしっかり話を聞き、必要に応じてメモを取り、わからないことがあるときはその場で聞きます。

正しい指示の聞き方

- ①相手の顔(目や口元)を見て聞きます
 - ②メモを取ります
 - ③最後まで聞く
 - ④助けてもらった時は「ありがとうございます」とお礼を言います
 - ⑤最後に指示を受けたことを自分で言葉にして相手に確認します
- 自分ではわかったつもりでも間違っていることもあります。指示の内容を最後に確認することが大切です。

聞いただけでは忘れてしまうことも多い。メモをする習慣をつけることは社会人としての基本だ



ディズニーランドで最高のホスピタリティに触れる!!

7月24日。昨年の外出プログラムが終わった時点からこの日は決まっていた。ディズニー混雑カレンダーを参考にしこの日を選んだものの、大混雑、夏の暑さは覚悟して臨んだ。当日は新宿駅西口に10時集合。待ち合わせに間に合うには何時の電車に乗るのか、何時までに駅に着けばよいのか…待ち合わせ一つとっても計画と準備が必要だ。新宿駅での待ち合わせに不安があり、最寄り駅で他のメンバーと待ち合わせる参加者もいる中で、1名待ち合わせ時間に現れないというハプニングからその日は始まった。現地までは京王線、中央線、京葉線を利用した約1時間30分の移動。公共の場でのマナーやルールを踏まえた行動が求められる中、はやる気持ちを抑えながら現地に到着した。エントランスの奥にキャラクターの姿を横目にそれぞれがチケットを購入し入園。ここからは4～5人のグループでの自由行動だ。集団は小さくなるもそれぞれの意見をまとめながらの行動は協調性を求められる。人気アトラクションは待ち時間が約2時間、1点集中!!とその列に並ぶグループ、空いているアトラクションを狙って時間いっぱいまで数をこなすグループ。楽しみ方もそれぞれだ。希望を出し合いながらワゴンのポップコーンやアイスキャンディを味わったり、アトラクション選別に悩んだり…中には他のメンバーとはぐれそうになった人もいながら、帰りの待ち合わせには全員が遅れることなく集合した。それぞれの手にはお土産袋…限られた時間の中でお土産選びの時間も計算して行動したようだ。笑顔で帰路につく参加者からは来年は滞在時間をもっと長くしたい、また来年も行きたいとの声。
 働く目的はそれぞれだ。それがあから願われる…それを確認できた一日だったのではないか。



夏祭りの気分も味わえる装いのパーク内
 日頃の疲れを忘れて夢の国を楽しんだ

就労したい方、または就労継続を希望する多摩市在住のご家族の方からの相談を受付けています。相談は予約制です。☎042-311-2324(受付は祝日除く月～金 9:30～17:00) 住所：多摩市関戸 4-19-5 市立健康センター4F